



1 第 1 回穂波東校小中一貫教育推進会議（4 月 27 日）

穂波東校では、小中一貫教育推進会議が核となり、小中一貫校穂波東校づくりを進めていきます。

穂波東校小中一貫教育推進会議

一 構成メンバー

小学部・中学部の校長、教頭
主幹教諭です。

二 任務内容

各先生方から出されているアイデアや要望などを集約する等し、穂波東校を充実した小中一貫校にするために必要な取り組み等について話し合います。

三 会議の進め方

基本的に会議は、

① 学校運営づくり

（組織づくり・人材づくり等）

② 教育活動づくり

（異学年交流活動づくり・特色ある教育活動づくり等）

③ 校内環境づくり

（掲示物の充実・各部屋の機能化）

以上の三本柱で進めます。

四 先生方へのお願い

推進会議のメンバーへ「意見・要望・疑問等」をお寄せ下さい。

それでは第 1 回の推進会議で話し合われた内容について、要点のみ以下にお示しします。

① 学校運営づくり

ア 研究部会

前年度に引き続き、研究部会（学力向上部、生徒指導部、特別活動部）を中心に取り組みを進めます。6 月に小中合同の研究部会を開きます。その中で、「9 年間の教育活動プラン」をベースに重点目標や具体策について協議します。

各先生方がどの部会に所属するかについては、後日、提案が出されます。

イ 小中合同分掌部会

本年度は小中の校務分掌の一体化を図っています。必要に応じて、小中合同分掌部会を開いて下さい（小中の教務が日程調整をしますので、お申し出ください。）

② 教育活動づくり

ア 異学年交流

施設一体型の一貫校では、日常的に異学年交流を実施することができます。

小中交流給食、中期縦割り掃除、5・7 年生によるクリーンアップ活動（地域清掃）などについて後日提案が出されます。

イ チャレンジ学習（仮称）

中 1 ギャップの解消に向け、5・6 年生を対象に中学部の教師による授業を実施します。これは一般的に「出前授業」と呼ばれていますが、穂波東校では、これに少しアレンジを加えたものを実施しようと考えています。それは、中学部の教師が 5・6 年生の教室に向いて授業をするのではなく、5・6 年生が中学部の校舎エリアに向いて授業を受けるものです。現在、「チャレンジ学習（仮称）」としていますが、良いネーミングがあれば、ご意見をお寄せください。

③ 環境づくり

穂波東校は掲示スペースが充実しています。この環境を生かして、教育環境の充実を図りたいと思います。また、部屋のスペースについても充実していると思います。これらの環境を生かすためのアイデアを練り上げ、今後提案致します